

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成27年10月15日 (2015.10.15)

【公表番号】特表2015-520990(P2015-520990A)

【公表日】平成27年7月23日 (2015.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-046

【出願番号】特願2015-511356(P2015-511356)

【国際特許分類】

H 0 4 L 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月21日 (2015.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放送及び通信システムにおけるデータを送信する方法であって、

与えられたソースシンボルサイズを有する複数のソースシンボルで構成されたソースシンボルブロックの各ソースシンボルを所定の個数のシンボル単位に区分するステップと、
可変サイズのソースパケットを前記ソースシンボルブロック内のシンボル単位で配置するステップであって、

前記ソースパケットのうち第 1 のソースパケットは、前記ソースシンボルブロック内の 1 つまたは複数の第 1 のシンボル単位の開始点から配置され、前記第 1 のソースパケットに後続する第 2 のソースパケットは、前記第 1 のシンボル単位に後続する 1 つまたは複数の第 2 のシンボル単位の開始点から配置される、ステップと、

前記ソースパケットが配置された前記ソースシンボルブロックの前記複数のソースシンボルを符号化して伝送するステップとを含むことを特徴とするデータ送信方法。

【請求項 2】

前記ソースシンボルサイズ T を有する前記ソースシンボルブロックの各ソースシンボルは、m 個のシンボル単位に区分され、各シンボル単位は T / m バイトであることを特徴とする請求項 1 に記載のデータ送信方法。

【請求項 3】

前記ソースパケットのうちいずれか一つのソースパケットが配置された最後のシンボル単位で前記ソースパケットのデータが存在しない領域は、所定の値でパディングされることを特徴とする請求項 1 に記載のデータ送信方法。